



平成24年を迎えるにあたって、 今考えること

掬水まちづくり協議会
会長 久瀬 宰

私たちの掬水まちづくり協議会（以下、協議会という）は、今年度で6年の期間を終えようとしています。協議会は、これまでも地域の方々の熱心なご理解ご協力をいただき、また協議会本部役員の皆さんはじめ、

関係する自治会や部会の皆さんたちが毎日の手探りの中で、しかも皆さんのご理解ご協力に支えられ、ここまでやってくることが

できました。心より深く感謝を申し上げます。既に新しい会長が決まり、いよいよ平成24年度は新しい会長の下で協議会がスタートいたします。丁度、それと同時に、松阪市では全地域で43協議会が一斉にスタートし、いよいよ本格的な住民協議会の時代の到来となります。そこで、この時期にもう一度、皆で平成18年に協議会を立ち上げた当時を振り返り、考えたいと思います。

○ 「何のために協議会を、私たちは作ったのか。」

1、老若男女が参加し、楽しい行事をつくり、地域を活性化させる。
協議会を立ち上げたことは、それまでの（9つの自治会の上）に立つ（連合自治会）の行う行事、つまり9人の自治会長だけの協議組織で行う行事から、広く老若男女が参加した協議組織で行う行事に転換したことであります。これまでも、この協議会

行事には多くの住民が魅力を求め集い、この6年間で、それまでと違った取り組みを実感していただいたことと思います。

「皆が元気で仲良く、楽しいまちづくり」をモットーとして活動しています。皆が何事も分け隔てせず参加し、協議会の中で話し合い、多くの仲間と共に助け合い、解決をすることを大切にしています。いろんな人が、いろんな組織から参加し、話し合うのが協議会であり、話し合う人も、話し合う内容も、何事も分け隔ては致しません。目的は、楽しいまちづくり、つまり地域の活性化であります。

2、これからの高齢化社会を
例え「掬水夏まつり」では、それまでの「盆踊り」（商工会とPTAだけの夜店としようがい踊りと最後の抽選会で構成）を魅力あるものに変えました。老若男女、多くの住民が集い、多くの住民に喜んでいただきました。この夏まつりのように、これまでも私たち協議会では魅力のある行事を住民に提供するのみならず、地域の安全・安心に関する問題、ごみなどの環境問題などにも取り組み、住民にいろいろ幅広く受け入れられてまいりました。

見つめ、コミュニティー社会をつくる。

私たちは否応なしにこれからの経済の困窮する中、高齢化社会を迎え、今まで行政が行っていたことでも、地域でできることは地域の責任で、地域に任せられることも多くなってまいりました。また、地域では忙しいとか

『掬水草刈り十字軍』大募集!!

日時 12月10日（土） 8時30分 集合
雨天の場合 12月17日（土）
集合場所 安楽天神前の道路または現地



まちづくり協議会では、運動公園の草刈りをして活動資金に充てたいと思っています。手伝っていただける方は市民センターまでご連絡ください。草刈り機等は、無くても結構です。作業のしやすい服装でご参加ください。実施の有無は当日市民センターの留守番電話で確認してください。（櫛田地区市民センター TEL 28-2675）

多くの方の応援をお待ちしております！



昨年度の草刈り十字軍の様子

価値観の相違とか、核家族化とかで近所の付き合いを軽視する傾向があり、昔からよく言われる「向こう三軒両隣」の考えは都市化の中で忘れられ、薄れつつあります。成熟しきった今の世の中では人間として大切な繋がりは殆ど消え、住みにくく、皆が揃い責任を持って行う地域

十一月の行事予定

草刈り十字軍 12月10日（土）8時30分集合 集合場所 安楽天神前道路・現地
扇をあげよう 1月8日（日） 9時30分受付 場所 天王山総合運動公園
掬水自主防犯パトロール隊講習会 1月20日 19時 場所 櫛田市民センター
ふれあいウォーキング 1月22日（日）8時30分受付 集合場所 安楽天神

活動はますますできにくくなり
ます。

私たちの掃水校区にある昔からの自治会でも、昔から皆で助け合うというのを大切にやっています。米作を通して多くの出会い、それに神社などの祭りごとの出会いなどの行事は枚挙に暇がありません。しかし、最近ではそれも農家の多い地区でさえも昔のことになりつつあり、豊原町のように農家の少ないところでは町内での出会いなど殆どなく、さらに年に一度も町内の寄り合いを開催しないところさえあり、これからの自治会・町内活動など、ますますやりにくくなるのが予想されます。

このままでは、地域で孤立化する人が出てきたり、勝手な反社会的な行動をとる人が出てきたりします。今のうちに、変化の激しい世の中に対応するために、老若男女が行事に参加し、地域での人間としてのつながりを深め、励まし合い、支え合えるコミュニティ社会、つまり協議会の求める「皆が元気で仲良く、楽しいまちづくり」を推進する必要がありますように思われます。

○ 「協議会の行事には動員をかけて実施してきました。」

行事では、これまでも行事そのものの魅力作りや新聞やホームページなどで広報活動をする一方で、少しでも多くの人を集めるために、住民へ大変な動員をお願いしてきました。

例えば、4月の総会でも評議員以外に沢山の方に参加を求め、動員をお願いしてきました。これは、総会を通じ一人でもより多くの住民が参加していただくことと、協議会とはどのようなものかをより多くの住民に知っていただくことであります。

しかし、私たちは動員を掛けた多数の参加を得ましたが、一方では次の悩みを抱えてしまっています。

1、若い世代の協議会への参加を呼び起こせなかったことです。

特に若い世代の参加はなかなか得られません。常に意識はし、参加を促すようにしていましたが、昨今の経済事情もあり仕事の忙しさや価値観の多様化もあり、なかなか参加が得られなかったことも事実であります。

2、住民に「やらされている意識」を植え付けてしまったかも知れません。

動員は多くの人を、しかも確実に集められ、それなりの効果があったと思いますが、一方で

我々の思いとは反対に、動員として課した分、受身の、「やらされている意識」を住民に植え付け、協議会そのものについて考える機会を奪っていたかも知れません。

そして、これらの悩みは、未だになかなか改善点を見つづけていけません。

【※ 次号に続きます。】

シリーズ自治会だより (六)
少子化・高齢化・核家族化

安楽町

自治会長 脇田博之

現在、安楽町は二十数世帯で構成されているが、安楽町自治会へ加入しているのは十七世帯である。安楽町自治会の世帯数は、昭和初期の頃には、十四世帯であったとの記録がある。その後、ベビーブームや分家等でしたいに世帯数が増加し、近年は二十一世帯で推移してきている。世帯数の少ない安楽町自治会でも、昭和二十年代には、十人程度の小学生がおり、小学校のほとんどの学年に在校生がいた時期もあった。

ところが昭和三十年代以降、少子化・高齢化・核家族化がし

だいに進んできた。子どもが小学生になると、その保護者は学校関係の役員を子どもが卒業するまで続けなければならなくなるなど負担がかかる状態になった。現在では、更に状況が進み、小学校の在校生は皆無の状態になっている。

社会経済情勢の変化もあり、一世帯あたりの家族数の減少も顕著である。後継者が市外に在住している等、後継者不在の世帯では、高齢者だけの世帯となっているが、そうした世帯において、昨年、今年と世帯そのものが消滅するという自治会にと

っても深刻な事態が生じ、活動に大きな影響が生じている。

最近三重県も松阪市も人口が減少していることから、今後、更なる世帯数や会員数の減少も予想されるので、自治会の活動も一段と厳しくなることが懸念される。櫛田地区においても程度の差はともかく、少子化・高齢化・核家族化が進展している自治会もあると推察するが、自治組織として時代の要請に対応した、地域が求める役割を、会員相互の信頼と協力のもと、何とか果たしていきたいものである。

幸せの黄色いレシート



**掃水まちづくり協議会
副会長 松井 淳**

「あ、今日はレシートが黄色い。」「え、何で黄色のレシートなん?」、みなさんはこんな体験を持っていると思います。

毎月11日、イオンで買い物をするレジでの精算時にレシートが黄色になります。そのレシートを地域のボランティア団体の名前が書かれた店内にある箱に投函すると、レシートの買い上げ合計金額の1%が、それぞれの団体に還元されてきます。

掃水まちづくり協議会もこの運動に今年の5月から参加しました。そして、平成23年度前期分の贈呈式が、さる10月20日、松阪市役所で行なわれ、掃水地区に19100円が寄贈されました。(市指定の黄色いゴミ袋でいただきました)

地域づくりの活動にこのような形で参加することもできるのです。みなさん、黄色いレシートを地域の「幸せ」の活動に活用してください。当協議会の投函箱は「マックスバリュ中央店」にありますので、よろしくお願いします!!

「危機管理」

掬水まちづくり協議会
副会長 葉山和則

1件の交通事故死亡事故の裏には27件の「人身・物損」事故が有り又その背景には300件もの「ヒヤリ・ハット」事故（信号無視、スピード違反、わき見運転等で事故にならなかったもの）が隠れている。——「統計学上の話で「ハインリッヒの法則」と言われるものである。これは私達の「危機管理」にも当てはまる事で、1件の「重大事態」（災害、人身、物損、人間関係等）の背景には27件の「異常・変化・トラブル」が有り又その裏には300件もの「その前兆・きざし」が見られる——と云える。この300件の「前兆・きざし」を早期発見、感知し、これに的確に対処、対応して27件の「異常・変化・トラブル」を防ぎ結果として1件の「重大事態」を防止する事により「安全・安心・住み良い街」が出来るものと思う。

福島原発の重大事故を目の当たりにして、この事態に至るまでの27件の「異常・変化・トラブル」への対処、対応、300件の「前兆・きざし」への取り組み、取り扱いが「危機管理」として明確、正常だったのか——。全ての原発に関する理論、学説、経験、こだわり、しがらみ等々を白紙に戻して関係者全員（国民全て）の「自己反省」がなければこの事態を根本的に解決する事は出来ないと感じた。再び「想定外の事態」が起るまでに残された時間は多くない。

原発の廃止、継続を論ずるのは「自己反省」の後である。（お断りしますがこれは全て私見です。如何なる団体、組織とも無関係です。）

老人会
ゴルフ大会
成績発表！



11月5日（土）掬水小学校運動場において、第二回老人会ゴルフ大会が開催されました。各地区から75名の参加がありました。

結果は次の通りです。

〈男性の部〉
優勝 小川 堯さん
二位 西川 康巳さん
三位 藤原 博さん

〈女性の部〉
優勝 池田 政子さん
二位 岩塚 和子さん
三位 松田 多津子さん

今回も大勢の方々に参加していただき、大いに盛り上がりました。

準備していただいた皆さん、ありがとうございました。

選手皆さん、応援の皆さんお疲れさまでした。

みんなで
凧をあげよう！



まちづくり協議会主催の『凧をあげよう』を行います。

・日時
平成24年1月8日（日）
悪天候の場合1月15日（日）

・集合
9時30分（昼ごろまで）

・場所
天王山総合運動公園



昨年度の安楽町の凧

昨年度は約100名の方々に参加していただき、大人も子どもも楽しんでいただきました。

今年も美味しい振舞いも準備してあります。ぜひご参加ください。

※事前の申し込みは不要です。個人又はグループ、自治会で一緒に作って参加ください。

※駐車場あります。

※市販の凧でも、手作り凧でも、どなたでも参加してください。

※小学生以下は保護者同伴でお願いします。

※当日天候不順の場合、実施の有無は、櫛田地区市民センターの留守番電話（朝9時以降）にて確認してください。

お問い合わせは、
櫛田地区市民センター
TEL 28・2675 まで

四国八十八ヶ所霊場
歩き遍路物語（十一）

豊原町 岩塚 章

「遍路さんよ、一番出発、この十二番所して私共民宿までで体力を使い果されるのですよ。これから二、三日は無理のない歩きで進んでください。」

歩き遍路の皆さんを長年見続けていられる御主人の言葉が体の芯から伝って来る。このコース行程考えて見るに若者と同じ時間で計画していた。「これでは無理だ」その無理を車のお接待とJRのジーゼルカーでカバーした。この変更が先に進む手本となるのである。

JR牟岐線ちゆうでん駅下車。国道五五号線へ出る。十八番恩山寺まで四キロ。歩き遍路乗物接待までお断りして完全歩行の方。時々公共交通バスなどを利用される方いろいろな歩き遍路さんがいらっしゃる。私などは、

「遍路さん次のお寺まで乗って行きませんか」

あまり完全歩行にこだわらない。体力あつての歩き遍路なのだから。今回の巡礼旅終った時それらのお接待を受けることが少なかつたことに気付いた。やはり少しは「歩き遍路」にこだわって



十九番 立江寺本堂

いたのかなと思つた。
 十八番恩山寺まで四キロ。境内に着いたのが四時を過ぎていた。このお寺は大師が母君を伴つて登山し孝養を尽され寺号を母養山恩山寺となつた。車のお接待を頂いたり、JRにお世話になつたりしたけれど体の疲れも限度を越えている。足ふらふらで近くの民宿ちばにたどりついた。
 やつとこのお寺で八十八ヶ所霊場の五分の一ヶ所お参りしただけ。いやいやこの五分の一のお寺を巡礼して「これが歩き遍路なのだ」この何かを会得出来たように思う。まだまだ本当のころ、また体験するのは先の先になるのだが少し歩き遍路は、この様なことかおぼろげに判つて来たように思う。
 十九番立江寺は格式の高い寺で関所寺になつている。門前には名物の薄皮まんじゅうがあり何度四国に行つてもその店には立ち寄つて路中一ヶ二ヶと口をもぐもぐするのが楽しい旅栗毛になつている。

櫛田川クリーン作戦に参加者500名超

20日は、直前までの雨で開催が心配されましたが、自治会330名、掬水学童39名、東部中学校62名、松阪商業高校11名、企業25名（トライス様・日本土建様・中井土木様・宮本組様）、県・市関係30名、スタッフを合わせると、500名を超える方々に参加していただきました。

作業終了後は、「はつらつクラブ」の皆さんによるおいしい里いも汁が振る舞われました。

参加していただいた皆さんありがとうございました。準備運営していただいた皆さん、お疲れさまでした。

開会式の様子です。



さといも汁、とても美味しかったです。



ゴミを、軽トラ10台分も回収しました。



大勢の小中高生が参加してくれました。ありがとうございます！



今年度も多数の方のご参加をお待ちしています。

お問い合わせは、
 櫛田地区市民センター
 TEL 28・2675

- * 事前申し込みは不要です。
- * 駐車場あります。
- * 伊賀町自治会の皆さんに、温かい「ぜんざい」を準備していただきます。
- * 空クジ無しの抽選会も予定しています。
- * 当日の実施の有無は、櫛田地区市民センターの留守番電話（朝9時以降）にて確認してください。

安楽天神↓運動公園
 往復約5km

- ・コース
- ・受付 8時30分～9時
 12時ごろ解散予定
- ・集合場所 安楽天神
- ・日時 平成24年1月22日(日)
 予備日 29日(日)

冬の里山をみんなで楽しく歩きながら、自分たちの住む地域の美しさを再発見しましょう。

「ふれあいウォーキング」
 参加者募集!